

フリーストールは戻し堆肥とオガクズを敷料にする。オガクズは豊富に手に入る



パラーの待機場にはスプリンクラーを設置し、搾乳間の暑熱対策にも利用する

関係者にも牛への配慮を伝える

農場には、飼料や施設などの関連企業の担当者、獣医師、国内外の研修に加え、教育ファームで農場体験に訪れる子ども達、学校関係者など多数の部外者が訪れる。このことについて柳さんは「来場者が多くいることで、かえって牛達は人に慣れる」というプラスの側面を話す。一方で、「たとえ関係者であっても、牛への配慮を欠く場合は注意し、改善を求めている」と話す。

例えば、営業車や配送車の、農場内での運転などだ。牛舎周辺を走らざるを得ない場合は、牛達に恐怖を与えないよう、極力徐行するように求めている。

日々のミーティングで共有

農場では毎朝、酪農担当でミーティングを行っている。村の暮らしの話題や、作業の分担などがメインになるが、このミーティングが牛を考える場でもある。

例えば、前述の待機場での暑熱対策も、このミーティングで発案されたもの。その成果は、昨年の月別乳量で7月が最大乳量であったことや、8月に26頭受胎できたことにつながった。

このように、日々、牛達に接する者同士が、牛の声や共有し、より乳牛の快適性を高めるための工夫につなげている。

そしてミーティング以外にも、作業を共有することで「この人しかできない」といった作業を作らないことも、牛達の恒常性を考えるうえで、大切なポイントにしている。

現場の知恵と工夫



栃木県・A牧場

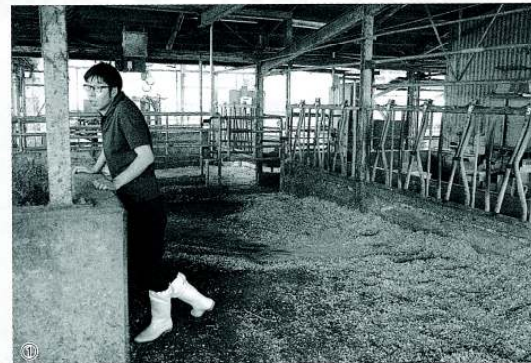
ウォーターカップをスターター給飼器に

栃木県のA牧場は、繋ぎ牛舎からフリーストール牛舎に切り替えの際に、繋ぎ牛舎で使っていたウォーターカップのペロを外し、スターター用給飼器にした。ペんに鉄筋の輪を溶接し、飲水用のバケツと並べて下げる。二つの輪の大きさは同じなので、カップが外れないように30cm程度の鉄筋棒を縁に溶接し、つかえ棒としている。カップの容量や深さが子牛にピッタリ。

凄腕のハンドラー

現在、モンゴルからの実習生が2人いる。うち1人はモンゴルでも都市部からの実習生だが、もう1人は遊牧民の出身だという。取材時、この遊牧民出身の実習生は不在だったが、彼はスタッフ皆が認める、凄腕のハンドラーだとか。

「持って生まれたセンスが違う」「本当の意味で家畜と生活を共にしているだけに、牛を見る目、牛を誘導する手腕は別格」と皆が称賛する彼は、牛を記憶し、口笛だけで誘導する。牛群の中から特定の個体を誘導して、治療を要する牛をスタンションで長く拘留する機会を減らすために大いに力を発揮している。



①最大収容頭数20頭のキャッチベン
②キャッチベン一角には固定棒を常設
③キャッチベンには、作業に必要な備品と流しを装備

人も牛も共生共活

ヤマギシズムの理念に「共生共活」というものがある。「生けとし生きるものすべてが、その持ち味を共に用い、共に活かしている状態」が、その意味だとか。これは酪農にも当てはめられ、「人同士も、牛と人も、地域の農業とも、共に生きている」と柳さんは言う。そして、「牛を通じてみんなと一緒にやっぺいこう」というのが、酪農担当のスタンスだと言う。

だからこそ、「牛に負担をかけない」管理や施設のあり方を考え合い、日々の作業を改善していくことができる。

(取材＝前田朋)

周産期は REASHURE™ におまかせ!!

分娩大丈夫ですか?

周産期に書さなど何つかのストレスがかかる

ストレスからエサを食べられなくなります。体の維持エネルギーが増えます。

ケトシス、脂肪肝、起立不能等の周産期病の原因になります。

遊離脂肪酸 (NEFA) が動員されやすくなります。

そんなときは **REASHURE™** の出番です。

REASHURE™

リーシュアは、日本の多くの大学研究機関(旭川大学、北海道大学、東北大学、九州大学)で長年の臨床研究(牛)を経て、ケトシス、脂肪肝、起立不能等の周産期病に有効であることが証明されている唯一のバイコリン製剤です。

株式会社 **リーシュア**
〒025-0001
宮城県仙台市青葉区下町1-10-5
TEL 011-862-3978 FAX 011-862-4776